

粗骨材露出工法

コンクリート舗装表面に骨材を露出させる工法で、すべり抵抗性や騒音低減効果を向上させます。

概要

コンクリート舗装の仕上げ後に凝結遅延剤等を使って表面の未硬化のモルタルのみを除去したり、ショットブラスト等により表面のモルタルのみを除去することで表面の粗骨材を露出させる工法です。

特長

- ▶ 供用開始初期の粉じんを抑制します。
- ▶ すべり抵抗性を向上させます。
- ▶ 小粒径粗骨材を使用すると通常のコンクリート舗装と比べ、騒音低減効果があります。

適用場所

- ▶ 車道（高規格道路、一般道路、特にトンネル部）



路面状況